

# 取扱説明書

## EcoTiger

夏を乗り切る強い味方



このたびは、弊社製品をご購入いただきありがとうございます。

お使いになる前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全にお使いください。

なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

# 仕様

## 1. <車載用タイプ>仕様

タンク	市販飲料用のペットボトル(2L相当)1本
ノズル組込電動ファン	2台 (各1台にノズル1個組込)
ノズルタイプ	2流体方式
ミスト量の調整	付帯する調整バルブによる
ミスト噴霧量	0~9.0 L/h (バルブ調整による。最適:0.5 L/h付近)
水吐出圧力	0.15~0.20 Mpa
ファンスピード	強・中・弱の3段階調整
定額入力電圧	DC12V
消費電力	78W (6.5A 12V)
本体寸法	L335×W160×H165mm
本体重量	2.4kg

注意: ボトルケージを取り外すと、本体内のボトルケージ取付板が落ち、故障の原因になりますので、ボトルケージは絶対に取り外さないでください。

# 安全上のご注意

火災、感電、怪我などの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。

- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みいただき、指示に従って正しく使用してください。ご使用上の注意事項は「△警告」と「△注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

△警告：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。

△注意：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害および物的損害を負う可能性が想定される場合。

なお、「△注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

「△警告」・「△注意」以外に製品の据付け、操作、メンテナンスなどに関する重要な注意事項は「(注)」にて表示しています。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。

当社は、あらゆる環境下における運転・点検・整備のすべての危険を予測することはできません。したがって、本書や当製品に明記されている警告は、安全のすべてを網羅したものではありません。本書に書かれていない運転・点検・整備を行った場合、安全に対する配慮が必要です。

お買い上げの販売店とよくご相談ください。

- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

## 警告

火災、感電、怪我を防ぐために下記を必ずお守りください。

1. 取扱説明書の記載事項に従いご使用ください。記載事項に従わず使用した場合、火災の原因や人または動物への感電や怪我を負う危険性があります。
2. 動力源が本製品の容量又は電圧に適合することを確認してください。
3. 本機は水平な場所に設置してください。
4. 雷鳴時は屋外での作業には使用しないでください。
5. 本製品を使用中、異常を感じたら直ちに使用を中止してください。
6. 本製品のすべての部品は、当社純正部品を使用してください。
7. 怪我の原因になりますので、子供の手が届かない安全な所でご使用ください。
8. 本製品の分解・改造を行わないでください。

# 警告

**組立やお手入れの際、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。**

9. 本製品を動かす、組み立てる、またはお手入れをされる際はバッテリーまたはコンセントに繋がっていない状態にしてください。
10. 本製品を有害物が近くにある場所では使用または保管しないでください。
11. 本製品を完全に組み立てるまでは電源プラグをコンセントに差し込まないでください。組み立て前にバッテリーにつなげないでください。
12. 本製品が正常に作動しない、部品が足りない、故障している、または水につけてしまった場合はお買い上げの販売店にお問い合わせください。
13. 感電や怪我をすることがありますので、お手入れの際は、バッテリーまたはコンセントに繋がっていない状態にしてください。また、濡れた手で抜き差ししないでください。
14. 製品、電源コード、プラグを水につけたり、水をかけたりしないでください。ショート・感電・発火の恐れがあります。
15. 電源コードを温度の高い表面に接触しないよう、注意してください。
16. 電源プラグがコンセントに入った状態またはバッテリーにつないでいる状態で、製品を放置しないでください。使用時以外は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。製品のスイッチをオフにしてから電源プラグをコンセントから抜いてください。
17. 不意な誤操作を防ぐため、リモコンの電池を交換する際は、本体に接続しています外部電源接続ケーブルを必ず外してください。
18. 電源コードや電源プラグが損傷している時、コンセントの差し込みが緩い時は使用しないでください。本製品が損傷している時は使用しないでください。電源コードを傷つけたり、破損したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、重いものを載せたり、加工したりしないでください。
19. カーペットやじゅうたんの下に電源コードがある状態で使わないでください。電源コードをじゅうたんやカーペット等で覆った状態で使わないで下さい。
20. エア・水の吸気口や排気口に異物を入れたり、入るような状態にしないでください。本製品の故障の原因になります。
21. 本製品のノズルをふさいだり、詰まらせたりしないでください。ミスト機能の低下の原因になります。修理が必要な時は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
22. 障害物の近くや、不安定な場所では使わないでください。転倒により、怪我をする恐れがあります。

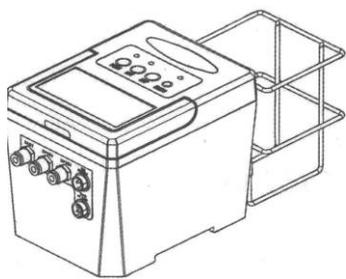
## 警告

23. 製品が大量の水の中に落ちる可能性がある場所（例えばプールやバスタブ）や導電性の物質がある場所の近くには絶対に置かないでください。
24. ファンの中や可動部へ指などを入れないでください。
25. 壁や天井に製品を掛けたり、取り付けたりしないでください。
26. 髪、スカーフ、リボン等をファンに近づけないでください。
27. 運転の開始直前にノズル孔を覗き込まないように、また運転中は、目詰りの疑いがあってもノズル孔正面に眼を近づけないでください。
28. 本体に異常な振動が発生した場合は運転を中止してください。
29. 次のような場所及び環境の下で利用及び設置して運転しないでください。
  - i) 可燃性ガスの発生、滞留及び漏れのおそれのある場所。
  - ii) 油煙、酸性及びアルカリ性ガスの発生の恐れのある場所。
  - iii) 多量の粉塵が舞っている場所。
30. EC-F-02 型の直流電源装置は単相交流 100V 以外では使用しないでください。
31. EC-V-02 型は必ず DC12V で使用してください。指定の電圧以外で使用すると電気部品の損傷につながります。

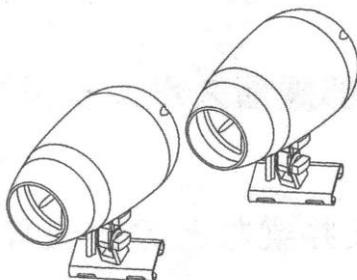
## 注意

- ① 本製品は、二流体方式のノズルを採用しており、微細な孔による機能を維持するため、取り込むエアと水に汚れや異物が混入しないよう努めてください。
- ② エアークリーナエレメント及び水フィルターが健全に揃ってない状態では本製品を使わないでください。
- ③ 本製品に取り込む水は、蛇口から直接得られた水道水または市販の水に限ります。
- ④ その他の液体を使用する場合又は他の用途で使用される場合、お買い上げの販売店にまでご相談ください。
- ⑤ 本製品は、気温環境が 10～50℃の範囲でご利用ください。
- ⑥ 4 時間以上に及ぶ連続運転は行わないでください。また、水の吸水がない状態のカラ運転は行わないでください。故障の原因になります。
- ⑦ 本製品を水貯まりのような場所及びゴミや塵埃が貯まるような場所に配置しないでください。本体ボックスの底にエア吸入口があります。
- ⑧ 本体側面下部の排気口の直前約 10cm 内に物を置かないでください。誤作動の原因になります。

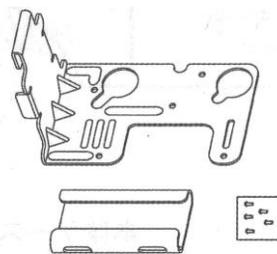
### 3. 本体と付属品



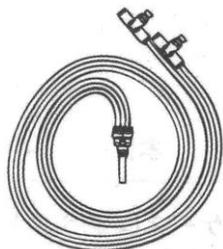
本体 1台



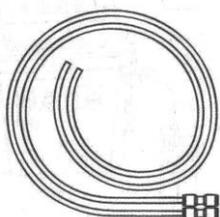
ノズル付きファン 2組  
(緩衝スポンジ付き)



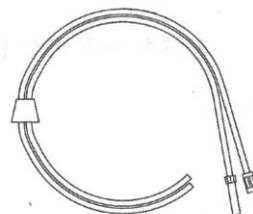
本体ケース取付セット 1組



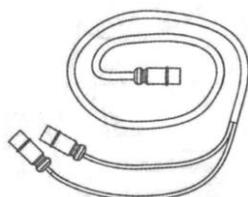
ミスト量調節バルブ付き  
水チューブセット  
長さ約3m 1組



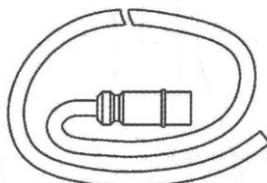
エアーチューブセット  
長さ3m 1組



吸込チューブセット  
長さ約0.7m 1組



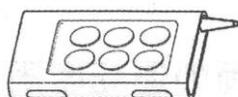
ファン電源ケーブル  
長さ約3m 1組



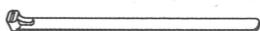
外部電源接続ケーブル  
長さ約3m 1組



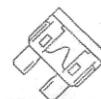
本体ケース固定ベルト 1組



リモコン 1個  
(乾電池付:特殊 12V/23A)



結束バンド  
長さ 150mm 8本



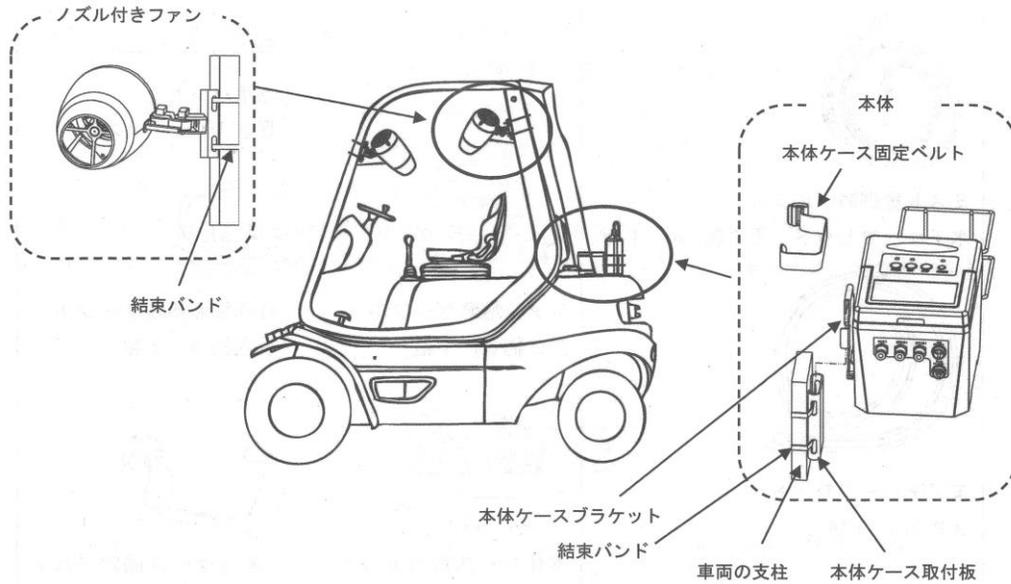
フューズ(予備) 1個

## 4. 利用準備

ノズル付ファン及び本体の取付は、車両運転席の状況に応じて行ってください。

### (1)ノズル付ファン(取付け金具部緩衝スポンジ付き)の取付け

車両の運転席周辺の支柱又は天井梁などの適当な場所に取り付けてください。  
取り付けに付属の結束バンド又は相当品等をご利用ください。



### (2)本体の取付

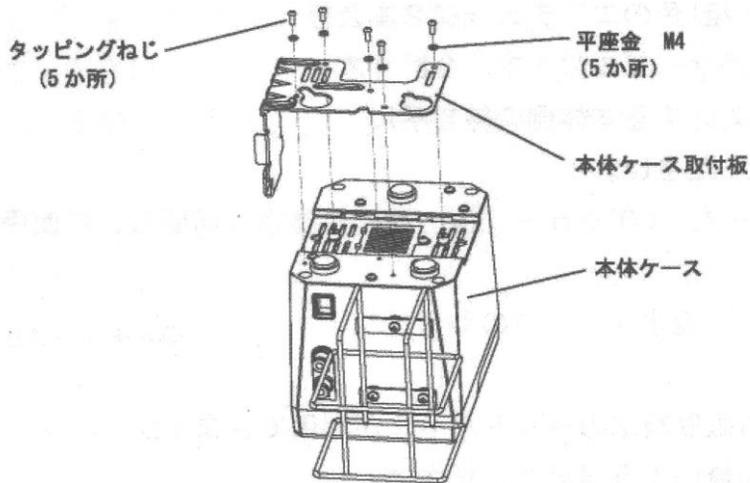
運転席の周辺支柱又は適当な本体を配置してください。

配置及び取付について、本体ケース取付セットや本体ケース固定ベルト等をご利用ください。  
本体ケース取付板を支柱に結束バンド等で取り付けてください。  
本体ケースブラケットを本体ケース取付板にはめこみ、本体ケース固定ベルトでしっかり固定します。

又は本製品をご購入された販売店にご相談ください。

### (3) 本体ケース取付板の取付方法

必要に応じて本体ケース取付板を本体に取り付けてご使用ください。  
本体を逆にし付属の5本のタッピングねじと平座金で図のように本体ケース取付板を本体に取り付けてください。



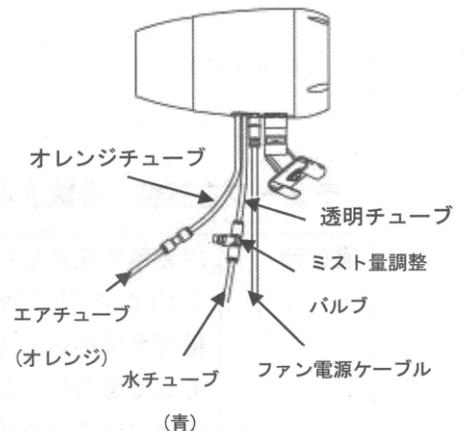
## ⚠ 注意

タッピングねじに過度な力を加えて締め付けしないでください。  
本体が破損する恐れがあります。

### (4) チューブ及びファン電源ケーブルの連結

#### 1) ノズル付ファン側との連結

2組のノズル付ファンの各々について、青色の水チューブ及びオレンジ色のエアチューブ各1本、合計2本のチューブ各々を継ぎ手に押し込んで連結してください。オレンジ色のエアチューブはオレンジ色のチューブに付いている継ぎ手に、透明のチューブは青色の水チューブについているミスト量調整バルブに連結してください。



ファン電源ケーブルについて、相手継ぎ手とのはめ合いを確認し、そのまま“クリツ”と音がするまで押し込んでください。

外す場合は、青色のリングを左(矢印の方向)に廻し、ケーブルを抜いてください。

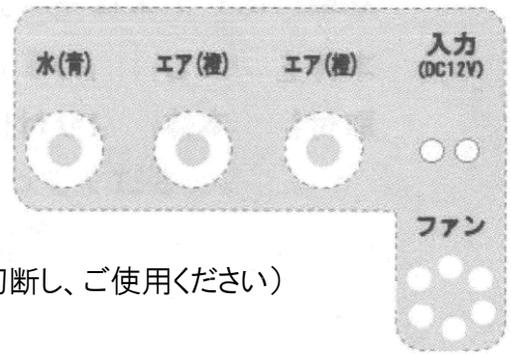
※継ぎ手の連結についてはページ9の「チューブを連結・分離する場合の注意」をお読みください。

本体側継ぎ手

2) 本体側との連結

青色のチューブ1本(2本に分岐する前)、オレンジ(橙)色のエアチューブ2本及びファン電源ケーブルの1本、合計4本をそれぞれ対応する本体側の継ぎ手に連結してください。

(水チューブ、エアチューブは、適当な長さで切断し、ご使用ください)

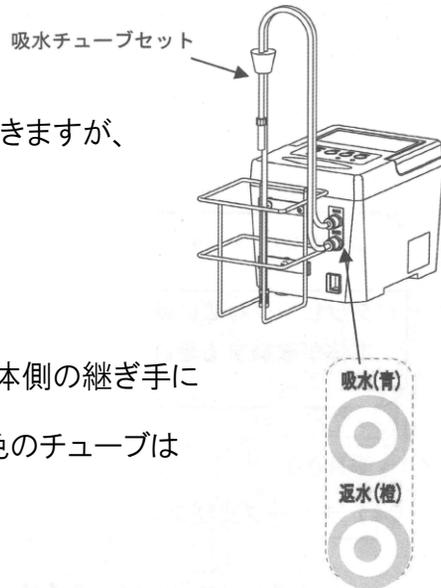


(5) 吸水チューブ、返水チューブの取付け

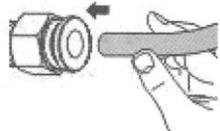
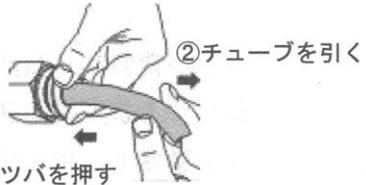
吸水タンクに市販飲料水のペットボトルが利用できますが、異物等の混入が無いよう努めてください。ペットボトル内に水が入っており、水フィルターが水の中に沈められているのを確認してください。

青色及びオレンジ色の合計2本のチューブを本体側の継ぎ手に連結してください。

青色のチューブは“吸水”継ぎ手に、オレンジ色のチューブは“返水”継ぎ手に対応します。



チューブを連結・分離する場合の注意

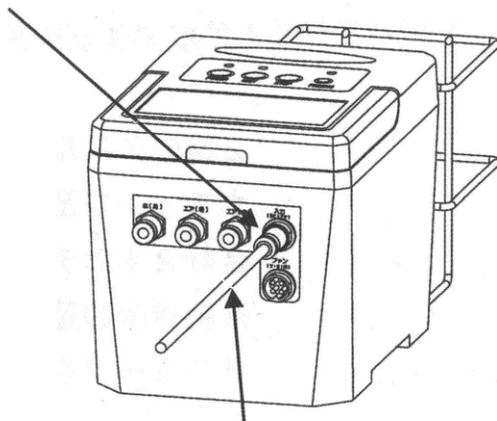
<p>連結時</p>	<p>継ぎ手で連結したつもりが水漏れ・空気漏れする場合があります。このため約 10mm 程度を目標に手応えを感じるまで継ぎ手に押し込んでください。そして念のため強く引いてもチューブが容易に抜けられないことを確かめてください。</p> 
<p>分離時</p>	<p>チューブを外すため無理に引いても抜けません。継ぎ手端部の白いツバを押すとロックが解除されチューブの引抜きができます(白いツバを押し込んだままチューブを引き抜いてください)。</p>  <p>①ツバを押す      ②チューブを引く</p>

## (6)外部電源接続ケーブルの取付け

### 1) 本体側との連結

外部電源接続ケーブルを“入力(DC12V)”と書かれている継ぎ手に連結してください。はめ合いを確認し、そのまま“クリツ”と音がするまで押し込んでください。外す場合は、青色のリングを左(矢印の方向)に廻し、ケーブルを抜いてください。

外部電源接続ケーブル用継ぎ手

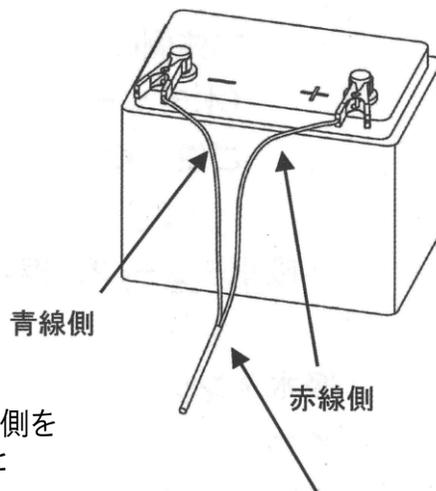


外部電源接続ケーブル

### 2) 車両のバッテリーに連結

本製品はDC12V仕様です。車両バッテリーの電圧がDC12Vであることを確認し、バッテリー形状に合わせ、ケーブルとの取り付けを行ってください。(右の挿絵には取り付け用クリップがついていますが、本製品にはクリップが付属品として含まれませんので、車両バッテリーの端子形状に合うものでケーブルとの取り付けを行ってください)

外部電源接続ケーブルの赤線側をプラス極に、青線側をマイナス極に各々接続してください。接続を間違えると本機が起動できないだけでなく故障の原因になります。



外部電源接続ケーブル

**【注意】** バッテリー式車両に使用する場合は、必ずバッテリー電圧に合ったDC-DCコンバーターをご購入し、外部電源接続ケーブルと一緒に正しくご使用ください。

## 延長コードご使用に際して

延長コードをご使用される場合は、本機を最高の能率で支障なくご使用いただくために、良好な状態で十分な太さの延長コードをできるだけ短くお使いください。延長コードは本機のコードと同じような被ふくを施したコードを利用してください。使用できる延長コードの太さと最大長さの目安は下記になります。

延長コードの太さ	延長コードの最大長さ
1.25mm <sup>2</sup>	20m

### ⚠ 注意

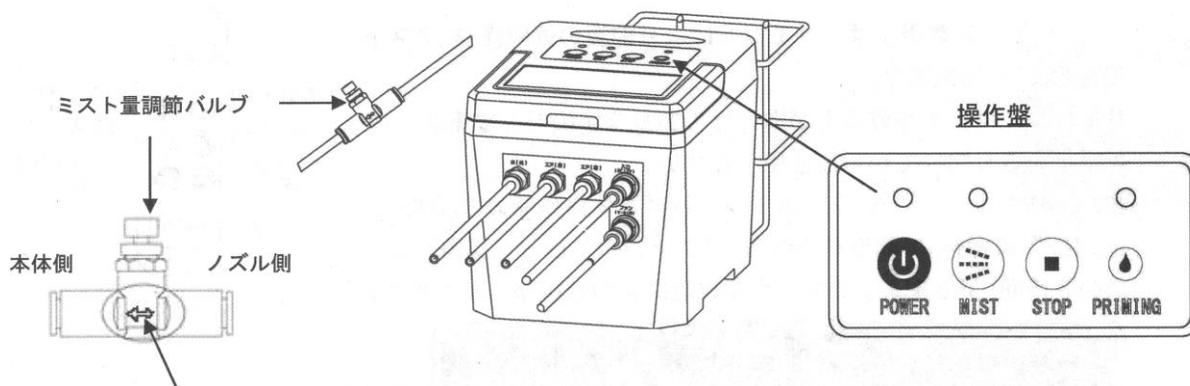
故障の原因になりますので、ゴミや塵埃が多い場所に設置しないでください。

使用しない時は、屋内で子供の手の届かない場所に保管してください。

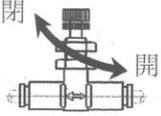
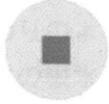
ボトルケージを本体から取り外すと、本体内のボトルケージ取付板が落ち、故障の原因になりますので、ボトルケージは絶対に取り外さないでください。

## 5. 使い方

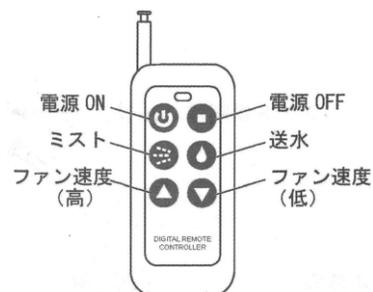
(1) 操作盤及びミスト量調節バルブについて、下記表の操作順に従ってください。



※必ず大きな矢印が本体側、小さな矢印がノズル側になるように取り付けてください。

操作順	LED の反応	機能及び利用目的他
① POWER (電源) 	赤色 LED 点灯	1) 外部電力の受電を開始します。 2) 同時にファンによる送風が開始されます。
② PRIMING (送水) 	青色 LED 点滅	1) 初めての運転又はシーズン始め等でチューブ内に水の充填を急ぐ場合に利用できます。 2) 反対にチューブ内に充滿している水を高速で放出する場合にも利用できます。 この場合、吸水チューブは外しておいてください。 3) 本機能を利用する間、ミスト量調節バルブを一時的に全開にすると時間短縮になります。
③ MIST (ミスト起動) 	緑色 LED 点灯	1) 水とエアポンプが作動を開始し、ノズルからのミストの発生が開始されます。
④ ミスト調整 		1) ミストを体感しながらミスト量調節バルブを左右に回転してドライからウェットの範囲でミストの質が調整できます。(必ず大きな矢印が本体側、小さな矢印がノズル側になっていることを確認してください。)
⑤ STOP (停止) 		1) ミストの発生が瞬時に止まり、遅れて3秒後にエアポンプが停止します。 2) ミストの停止と同時に送風中のファンも自動的に停止し、全て電源 OFF となります。

(2) リモコンにより前項の遠隔操作(ミスト調節除く)が出来ます。  
リモコンには予め乾電池が取付けてありますので、放電防止用絶縁紙を取り除いてからご使用ください。  
また、リモコンの“△ ▽”ボタン、及び本体操作盤の“POWERとSTOP”の操作(下記ラベル参照)でファンのスピード調整(強・中・弱の3段階)が出来ますので、作業環境に合わせて調節してください。



ファンスピードは 強・中・弱 の3段階です  
ファンスピードは POWER  を押しながらSTOP  を押すたびに変わります

注意: 本体とリモコンは、必ずセットでご使用ください。他のリモコンで操作しても作動しません。  
リモコンで他の本体の操作しても同様です。

## 6. 保守・点検

本機は、取り込む水及びエアに異物等が混入しないようそれぞれに濾過機能を具備しております。通常利用される水道水には、藻の原因となる菌及びカルシウム等のミネラル成分が含まれることがあります。その水を長期にわたって運転及び停止を繰り返すうち、内部に滞留及び残留した水の中に藻類が発生、またノズル吐出孔の周辺にミネラル質の析出により白い堆積が生じるようになり、これらが微細なノズル孔の目詰りの原因になりやすく、寿命を縮めることとなります。本機を長くご利用いただくため、以下のような水質保全を始め保守・点検にご協力をお願いします。保守・点検は、電源ケーブルを本体から取り外してから、行ってください。

### (1) 水質の保全

- ・異物の混入を避けるため水道水または市販の水をご使用ください。
- ・市販飲料用の空いたペットボトルを水タンクとして利用する場合でも、1週間毎に他の新しいものと交換して藻類の発生を抑えるようお勧めします。
- ・ペットボトルの水中に藻類及びノズルの先端に白いミネラルの析出といった目詰まりにつながる異常など、毎週初めに目視点検する等により早期の発見に努めてください。
- ・ノズルの目詰まりは積極的に予防することが望ましく、例を下記に挙げます。

右図は、台所用品の抗菌剤として知られ、飲用とは違うクエン酸です。この水溶液は、水中の藻類の成長及び繁殖を抑え、同時にカルシウムの析出及び堆積を抑える場合にも効果が期待されます。



本ミスト装置で利用する場合、クエン酸水溶液の濃度は(大さじ2杯/1リットル)程度以下で、水溶液を利用する頻度は、毎週はじめとする等の定期的に行う目視点検の時期に合わせ適宜調整してください。ミスト発生を試運転を5分間程度行ってください。この試運転では、ミスト量調節バルブを全開にすることが適当です。



### (2) 水タンク内の点検

タンク内の水に藻類が見られた場合、直ちに水タンク及びタンク内に挿入した吸水用の水フィルターを洗浄してください。

クエン酸溶液でタンク内及び水フィルターを洗浄するか又はペットボトルの場合別に新しく空いたものと交換してください。

洗浄が終わるとクエン酸溶解液によるミスト発生を試運転を5分間程度行ってください。この試運転では、ミスト量調節バルブを全開にすることが適当です。

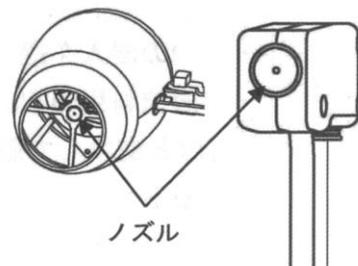
タンク内の水に藻類が見られない場合でも、週に1回程度、水フィルターを清水で洗浄してください。

### (3) ノズルの点検

- ・ミストの発生は正常であるが、ノズルの吐出孔廻りに白い堆積が見られた場合：

クエン酸水溶液を含浸させた綿棒を用いる等により、白い堆積物にクエン酸液の塗布を毎朝1回程度の頻度で繰り返し、堆積が減少するかを観察してください。

又はクエン酸液の濃度を適宜増して塗布を継続しても効果が見られない場合、お買い上げの販売店にご相談ください。



- ・ミストの発生がなく又は異常である場合：

下記処置を試みてください。それでも問題が解決しない場合、お買い上げの販売店にご相談ください。

- ① 細い針金等をノズル孔に差し込んで異物の除去を試みる。
- ② ノズル孔にエアブローを試みる。

この異常状態で、ノズルの吐出孔廻りに白い堆積も重なる場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

### (4) エアークリーナエレメントの清掃及び取替え

エアークリーナエレメントは環境の影響を最も受けやすく目立たない配置で劣化が進みやすいため、こまめに保守・点検を行ってください。

#### 1)実施のタイミング

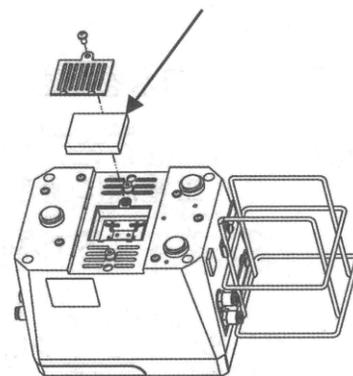
清掃及び取替えは、下記期間を最短の目安とし、塵埃環境の程度に応じ適宜加減してください。

- ・清掃：利用時間50時間毎
- ・取替：2年に一度取り換えることをお勧めします。

#### 2)清掃及び取替え

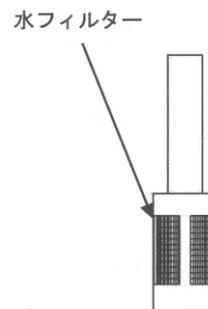
- ① エアークリーナエレメントの取り出し  
エアークリーナエレメントは、本体の底面中央のカバーを外して取り出します。
- ② エアークリーナエレメントの清掃および収容
  - (i) 取り出したエアークリーナエレメントをエアガン等で清掃してください。
  - (ii) 又は、ぬるま湯で洗い完全に乾かしてください。
  - (iii) フィルターの処置を終えたら元通りに収容し、カバーを取付けます。

エアークリーナーエレメント



## (5) 水フィルターの清掃及び取替え

水フィルターは、万一繊維性の異物等がボトル内の水に混入しても吸水チューブ内に紛れ込まないように濾過することにより安定したミストを発生するという重要な働きをします。



### 1) 目視点検

網目に目詰まりがないか、水中に異物がないかを日常の運転前に目視確認に努めてください。

### 2) 清掃及び取替え

- ① 網目が繊維性のもの及び藻等で目詰まりしている場合、洗浄する等除去してください。
- ② 水フィルターの目詰まり除去が難しい場合、新しく取り換えてください。

## (6) その他アフターケア

保守サービス及び修理に関するご相談は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

## 7. お手入れ・収納

シーズンオフ等で長期間ご利用の予定がない場合、下記要領でお手入れ及び保管ください

### (1) 残留水を抜き取る。

- 1) 吸水チューブ先端の水フィルターをペットボトルの水面から引き揚げてください。
- 2) 主電源に続き送水ボタンを押し、ノズルから水が出なくなるまで続けてください。
- 3) 次にミスト起動ボタンを押し約1分間カラ運転を行い完全に水を抜いてください。

### (2) シーズンオフ等で長期間使用しない場合、本体の入力端子から電源ケーブルを外し、ビニール袋等で包み塵埃の堆積を避けてください。

### (3) 本体下部の冷却換気孔及び継ぎ手等に埃が侵入しないようカバー等で覆う。カバーによる覆いを行わない場合、こまめに汚れ落しを行い、汚れや塵埃の堆積を避けてください。

### (4) 汚れ落としには、揮発性の溶剤類、磨き粉、アルカリ性洗剤などの使用を避け、中性洗剤を含ませてよく絞った柔らかい布を使用するが、洗剤が残らないよう十分拭き取った後、乾かしてください。

### (5) 乾電池漏電防止のため、リモコンに取り付けられています乾電池を外し保管してください。

## 8. 故障かな？と思ったら

ご使用中に異常が生じた場合、次の状況に応じてご対応ください。

問題の症状	調査及び確認方法	原因	処置方法
主電源ボタンを押しても作動しない。  <b>EC-V-02 型の場合</b>	赤色ランプが点灯しない場合、本体内部のフューズを調査する。	フューズの溶断。	12V 以上/15A 仕様の市販品と取り換える。
		フューズが正常な場合、本体の故障の疑い。	お買い上げの販売店に相談する。
主電源を押しても自動的に作動するファンが動かない。  <b>EC-V-02 型の場合</b>	赤色ランプが点灯する場合、継ぎ手の接続を調査する。	嵌合部の接続が不十分。	嵌合部の接続を締め直す。
		接続が OK の場合ファン又は本体に故障の疑い。	お買い上げの販売店に相談する。
リモコン操作しても動かない。	赤色ランプが点灯しない。	リモコン内の乾電池の電池切れ。	12V/23A 仕様の市販品と取り換える。
送水ボタンを押し続けるも、ノズルから水がでる様子がない。	青色ランプの点滅なく水ポンプの低い音もない。	本体の内部、特に水ポンプの故障の疑い。	お買い上げの販売店に相談する。
	青色ランプが点滅しポンプの作動音が聞かれるがノズルから水が出ない。	ポンプの水吐出能力の低下及び機械的不具合の疑い。	お買い上げの販売店に相談する。
	ポンプの作動音あるも、本体周辺に水漏れが見られる。	水吐出継ぎ手と水チューブの接続不良。	水チューブの再接続を行う。
ミストボタンを押したが、ミストも水滴も出ない。	緑色ランプの店頭なく水及びエアポンプの作動音もない。	エアポンプを含め本体が故障の疑い。	お買い上げの販売店に相談する。
	水及びエアポンプの作動音あるがミストが出ない場合、ミスト量調節バルブが締め過ぎ又はエア一圧の不足かを調べる。	ミスト量調節バルブが締め過ぎ。	バルブを緩める。
		エアポンプの能力低下及び不具合の疑い。	お買い上げの販売店に相談する。
ミストボタンを押したが、ミスト不出、水鉄砲になる。	エアポンプの作動音がない。	エアポンプを含め本体が故障の疑い。	お買い上げの販売店に相談する。
	エアポンプの作動音があるが、ミストが出ない場合、ミスト量調節バルブが開き過ぎ又はエア一圧の不足かを調べる。	ミスト量調節バルブが開き過ぎまたは空気の漏れの疑い。	バルブを絞る。 オレンジ色のチューブがきちんと継ぎ手にはまっているか確認する。
		エアポンプの能力低下及び不具合の疑い。	お買い上げの販売店に相談する。
ミストの出が悪い。不均一或は滴が垂れる等々。	ノズル吐出孔に異物が見られるかどうかを目視で点検する。	ノズルに目詰まりの疑い	P-15 の 3、4) ノズルの点検、清掃及び取替えを参照し処置する。